

今年も // 新しい小学校が誕生します

昨年4月に統合によって新たに開校した甲田小学校と八千代小学校に続き、平成31年4月に可愛小学校と郷野小学校が統合して愛郷(あいきょう)小学校が誕生します。ここでは、統合までの様々な取り組みをシリーズでお伝えしています。

第4回 スクールバスの通学練習が行われました

1 月18日(金)、29日(火)の2日間、郷野小学校の児童が今年4月に統合して愛郷小学校になる現可愛小学校への通学練習を行いました。郷野小学校からスクールバスに乗り込んだのは31名。平成会館発のスクールタクシーには8名が乗車し、乗り方や集合場所などを確認しました。初めての体験に児童たちは、少しでも遠足気分。新年度からの新しい学校生活に胸を高鳴らせていました。



閉校式の日時が決まりました!

- 郷野小学校
日時/3月24日(日) 9時~
場所/郷野小学校体育館
 - 可愛小学校
日時/3月24日(日) 13時~
場所/可愛小学校体育館
- ※式典終了後、各地区実行委員会主催による閉校記念行事を開催予定

開校式の日時が決まりました!

- 愛郷小学校
日時/4月5日(金) 9時~
場所/愛郷小学校体育館



第16回 安芸高田市児童・生徒自画像展 入賞・入選者発表



市長賞
ほりかわ ゆうか
堀川 優華(甲田中1年)



市議会議長賞
いのうえ たける
井上 健(吉田小3年)



教育長賞
くわばら あい
桑原 藍(美土里中1年)



八千代の丘美術館館長賞
とらお ねね
虎尾 寧々(吉田中2年)

優秀賞

- まぐちほら あいり 菊地原 愛里(吉田小3年)
- やまもと はるき 山本 陽生(可愛小5年)
- いしかわ ひろと 石川 大翔(郷野小5年)
- うえおか こうき 上岡 航己(八千代小3年)
- やまさき じん 山崎 仁(美土里小3年)
- すやま そうへい 陶山 創平(川根小3年)
- くぼた ゆういち 久保田 悠一(来原小3年)
- まきの ゆりこ 榎野 百合子(船佐小3年)
- あきおか さき 秋岡 彩葵(甲田小3年)
- ひのみや なごみ 火野宮 和(向原小5年)
- ふじい なつみ 藤井 菜摘(吉田中3年)
- にやま そうた 二山 颯太(八千代中2年)
- いわみ いおり 岩見 依織(美土里中3年)
- てらお りん 寺尾 綾馬(高宮中3年)
- しげのぶ ちはる 重信 千陽(甲田中3年)
- こだま みな 児玉 三奈(向原中3年)

入選

- しみず ゆな 清水 悠菜(吉田小5年)
- おかだ はるき 岡田 悠希(可愛小5年)
- たけむら ひなた 竹村 妃陽(郷野小5年)
- いしだ りゅうすけ 石田 竜介(八千代小5年)
- うえだ たくま 上田 匠真(来原小3年)
- かわもと りん 川本 凛(吉田中2年)
- さきぎ にいな 佐々木 新菜(吉田中2年)
- きつかわ しゅうま 吉川 昌舞(八千代中3年)
- さこだ こうめい 迫田 倅名(美土里中1年)
- たかはし さきほ 高橋 咲帆(高宮中2年)
- たいせい たいせい 大成(甲田中1年)
- りょうが りゅうが 凌我(甲田中1年)
- ただはる だいたはる 大杉 忠治(甲田中2年)
- はやと はやと 道遊 颯人(甲田中3年)
- いわみ ゆうた 石見 湧太(向原中3年)

※敬称略

受章おめでとうございます



瑞宝中綬章
かねだ みちかず
金田 道和さん
(吉田町)



瑞宝中綬章
はやしひさし
林 久さん
(甲田町)



瑞宝小綬章
きくやま まさふみ
菊山 正史さん
(高宮町)

大学、大学院等において永年英語教育に携わり、山口大学教育学部長、全国英語教育学会会長などを歴任されました。

仙台法務局長、札幌法務局長など昭和47年より法務行政に永年携わってこられました。

昭和46年より家庭裁判所調査官などを歴任。執筆、研究活動等で少年審判制度の革新に寄与されました。

たくさんのご支援ありがとうございます

〈平成30年7月豪雨に対する寄附状況〉12月21日~1月20日 2件 50,000円

[団体名]	[代表者]	[所在地]
シネマ・キャラバンV.A.G内映画を愛する仲間たち	代表 渡部 文明	広島市南区
安芸高田市人権協会	会長 辻駒 健二	安芸高田市甲田町

合計 41件 8,471,660円(1月20日現在)
ふるさとチョイス災害支援 合計 268件 4,909,692円(1月20日現在)

多数の企業や団体等からいただいているこの寄附金は市の災害復旧等に活用させていただきます。

Vol. 47 和して同ぜず



(文)
県立広島大学
上水流久彦准教授



(イラスト)
ロナルド・スチュワート
教授

違う文化から 日本を考える



人権多文化共生推進課
☎お太助フォン 42-5630 ☎47-1206

本年度最後のエッセイなので、多文化共生の基本的な考え方を紹介します。それは、「和して同ぜず」です。自分と違う存在を排除するのではなく、また自分と同じにするのではなく、「和す」ですね。これは、外国人と日本人ということだけではないと思います。職場でも近所でも、もしかしたら家庭でもあるのではないのでしょうか。考えが違ふ人と何かしていると面倒くさいと思うことが、私も多々あります。逆に私を疎ましいと感じている人もいると思います。同じだったらいちいち説明しなくても良いし、議論する必要もない、サクサクと作業が進む、良いことだらけのように見えます。以心伝心、阿吽の呼吸でしょうか。

でも、違う考えを知ることは、違う見方を自分に教えてくれます。また、他人への説明は自分が何を大事にし、何を軽んじているのかを分かってきてくれます。変化を生むきっかけでもあります。だからと言って、相手と同じにはならない。自分にとって大事なものは大事。そして、新しい在り方を模索し、そして相手を尊重して和やかな関係をつくる。「ああ、これが和して同ぜずだな」と思います。排除ではなく、包摂、そして和。考えてみれば、発展する地域は常に新しい考えやモノが生まれています。和して同ぜずの発想です。安芸高田市の発展は、様々な場での、日本人と外国人に限らない多文化共生にかかっているかもしれない。まずは隣の人と「和して同ぜず」を試してみよう!